

# 富山県伝統工芸品展示会

～富山の食とプロダクツのある風景～

【期間】2015年7月31日(金)～8月2日(日)

【会場】トリエンナーレ美術館 1F展示室

(イタリア・ミラノ)



## トリエンナーレ美術館で 展示会

富山県は2015年7月31日から8月2日まで、イタリア北部ミラノ市にある「トリエンナーレ美術館」を会場に『富山県伝統工芸品展示会～富山の食とプロダクツのある風景』を開催しました。同展示会は、同じくミラノ市で開催されている『ミラノ国際博覧会(ミラノ万博 期間:5月1日～10月31日)』の「富山県の日(TOYAMA STYLE)」に合わせて企画されたもの。

トリエンナーレ美術館は、「実用の美学」をテーマとする世界的な美術館で、デザイン都市・ミラノを象徴する施設。同美術館と、2017年に開館予定の富岩運河環水公園(富山市)に移転新築される県立近代美術館との連携を目指す富山県はこの機会を活用し、富山県の工芸品や富山プロダクツ商品をアピールしました。

富山県伝統工芸品展示会には、デザイン性の高い金属、布、ガラス、木製品などの工芸品を中心に50点の作品(右表)の他、陶芸家・釋永由紀夫氏(立山町)や和紙職人・川原隆邦氏(同)の作品も展示されました。会場にはミラノのデザイナーやイラストレーター、メディア関係者や観光客らが数多く訪れ、展示作品の繊細な技術に見入っていました。

最終日の2日には現地バイヤーらとの交流会が開催されたほか、ミラノ万博のため訪伊していた石井隆一知事が会場を

訪れ、同美術館アンドレア・カンチェラート館長と懇談。石井知事は移転新築する県立近代美術館について「デザイン振興を柱の一つにしたい。伝統工芸品も取り上げ人材育成の場にもしたい」と述べ、これに対しカンチェラート館長は「コラボレーション企画とかイベントの申し入れがあれば歓迎したい」と語り、両館の「美術・デザイン・伝統工芸」をテーマとした今後の親善・交流に意欲を示していました。

## 2016年の国際展へ出展 県産の伝統工芸品をPR

富山県はカンチェラート館長の勧めを受け、トリエンナーレ美術館で2016年4月2日～9月12日に開かれる国際展「21世紀、デザイン・アフター・デザイン」への出展を決定。伝統工芸品や富山プロダクツ選定商品の展示のほか、おりんや梵鐘など音によるインスタレーションも行う予定です。

### 出展品と製作企業

金属の工芸品・製品	(株)二上、北陸アルミニウム(株)、(株)KANAYA、(株)小泉製作所、(有)モメンタムファクトリー・Orii、(株)ナガエ、(株)能作、(株)織田幸銅器、(株)小泉製作所、(有)シマタ二昇龍工房、(株)タカタレムノス、(株)高田製作所、(株)竹中銅器、(株)山口久乗、(有)四津川製作所、高岡銅器(有)(以上高岡市)
布製品	富山もようプロジェクト、(株)松井機業(南砺市)
和紙製品	FIVE GOKAYAMA(南砺市)、(有)桂樹舎(富山市)
ガラス製品	天野漆器(株)、高岡漆器(株)(以上高岡市)、富山ガラス工房(富山市)
木製品	挽物師 肇工房、嶋田工芸(以上砺波市)、SHIMOO DESIGN(富山市)、黒田昌吾、高岡漆器(株)(以上高岡市)
その他	(株)リッチェル、とやま土人形工房(以上富山市)、(株)タカタレムノス、越中福岡の菅笠製作所技術保存会(以上高岡市)

